

認知関連アセスメント (CBA)

氏名 ()

検査日 ()

■ 評価点

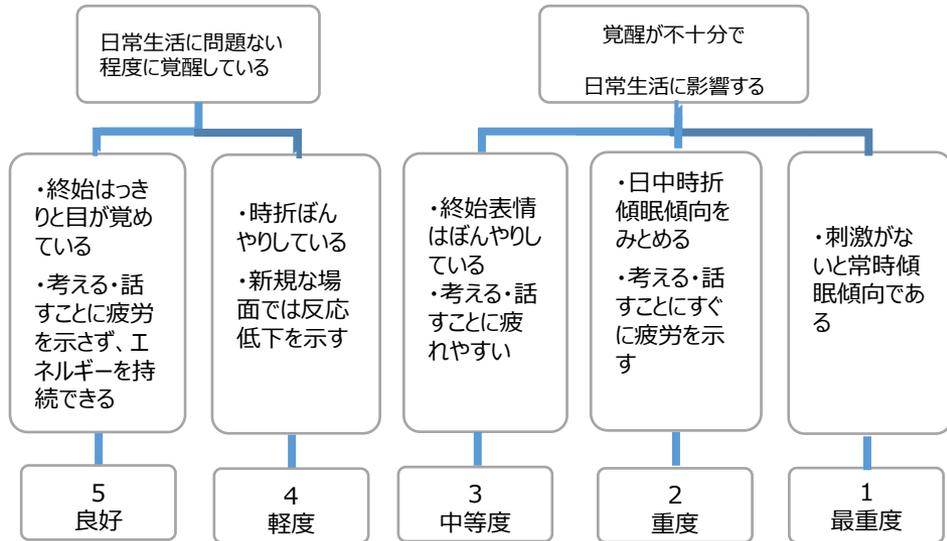
意識	感情	注意	記憶	判断	病識

■ 重症度

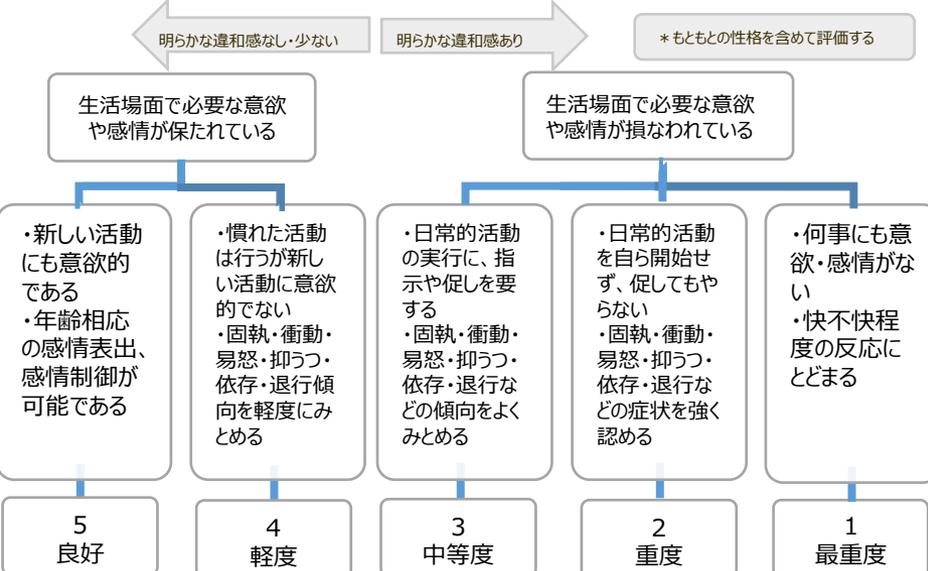
最重度	重度	中等度	軽度	良好
6-10	11-16	17-22	23-28	29-30

■ コメント

意識	覚醒	目がさめている、眠そうだったり、ぼーっとしていない
	易疲労性	考えることに疲れることなくエネルギーを持続できる



感情	意欲・自発性	自分から行動したり話したりできる
	感情表出	年齢相応に喜怒哀楽が保たれている
	抑制	年齢相応に感情をコントロールすることができる



注意

選択・持続	対象に注意を向け持続することができる
分配・転換・制御	注意を向かうべきところに向かわせ、同時に2つ以上の作業が行える

IADL

ADL

運転、料理、パソコン操作、入浴などの活動の様子から判断

用意された食事・整容、会話、運動障害が軽度の場合の歩行などの活動の様子から判断

細かい作業、複数の手順の活動が可能である

単純な作業、単一の活動しか行えない

- ・2つ以上の作業を同時に行うことができる
- ・作業中、他の刺激に反応し、適切にもとに戻ることができる

- ・2つの作業を同時に行うと若干成績低下がある
- ・過集中を認め、他の刺激に反応できないことがある

- ・1つの単純な作業を最後までやり終える
- ・干渉刺激が多くなるほど気が散る
- ・途中からエラーが増える

- ・干渉刺激があると必要な対象に注意を向けることができない
- ・1つの作業をすぐに中断してしまい持続できない

- ・必要な刺激に注意を向けることがほとんどできない

5 良好

4 軽度

3 中等度

2 重度

1 最重度

記憶

エピソード記憶	少し前、数日前のできごとをよく覚えている
展望記憶	予定や約束をよく覚えていて思い出すことができる

生活に必要な記憶が保たれている

生活に必要な記憶が保たれていない

- ・2〜3日前の出来事想起が概ね正確である
- ・予定や約束事を忘れることは少なく、問題とならない

- ・当日中の出来事は正確に思い出せるが、それ以前の記憶は不正確である
- ・予定や約束事をたまに忘れてしまう

- ・当日中の出来事を一部思い出せるが、細部があいまいで間違っている
- ・予定や約束事を忘れることが多い

例) 朝来客があったことを覚えてはいるが、誰だかが間違っている

- ・当日中の出来事想起がほとんどできない
- ・予定や約束事を覚えておくことがまったくできない

例) 直前にご飯を食べたことは覚えてはいるが、すぐ忘れてしまう

- ・少し前の出来事を想起することができない
- ・作話や記憶の混同を顕著に認める

例) 直前にご飯を食べたことを覚えていない

5 良好

4 軽度

3 中等度

2 重度

1 最重度

判断

自制的判断	自らの利益に固執することなく、長期的な状況を考慮して判断できる
社会的判断	社会的関係や場面・状況を理解して判断できる
対人的判断	相手の気持ちや立場を考慮して判断できる

「判断」を評価できる場面を作る、あるいはスケジュールや予定を利用する
例) 外泊の際、したいことは何か尋ねる
例) リハビリ担当者に伝えたい希望があるか尋ねる

生活場面で適切な判断ができる

生活場面で適切な判断ができない

- ・数年後の長期的な予測のために、必要な情報を考慮した判断、問題解決を行うことができる

5 良好

- ・ある程度近い将来を見越した判断が可能だが、自分中心、あるいは他者依存傾向をみとめる

4 軽度

- ・しばしば場面依存的、近視眼的な問題解決をおこない、トラブルとなる
- ・わかっていることには自分なりの判断や主張がある

3 中等度

- ・しばしば即時の感情に依存した問題解決をおこなう
- ・生活上ごく部分的な判断のみ自力で行える

2 重度

- ・しばしば物品依存的な問題解決をおこなう
- ・生活上適切な判断を行うことはできない

1 最重度

病識

障害理解	自分に生じた病気、障害、能力を理解し、できることできないことがわかっている
環境適応	自分の残存応力を理解し、環境に適応できる

「病識」の評価は、観察が会話で行う
観察の例) 自分の能力を考慮した行動をしているかどうか
会話の例) 「今困りのことは何ですか」「〜は一人でできそうですか」などへの返答から、自分の能力をどう感じているのかを探る

病気・障害をよく理解し、環境に適応して生活できる

病気・障害を理解できず、環境に適応できない

- ・自己の病気、障害、能力をよく認識している
- ・残存能力を有効に活用し、環境の変化に自ら工夫して適応できる

5 良好

- ・自己の病気、障害、能力を概ね理解し、深刻性の認識がある
- ・残存能力活用が十分でない

4 軽度

- ・自己の病気、障害、能力の認識は大まかであり、深刻性に乏しい
- ・よく整えられた環境にしか適応できない

3 中等度

- ・自己の病気、障害をごく大まかにしか認識できない
- ・よく整えられた環境下にあっても周囲の援助を必要とする

2 重度

- ・自己の病気、障害、能力を、全く認識していない
- ・よく整えられた環境でも、全面的援助が必要である

1 最重度